

1. 科目名 (単位数)	日本語教育実習Ⅱ (2単位)	3. 科目番号	EJJP4361						
2. 授業担当教員	松浦康世								
4. 授業形態	講義、グループ討議、発表、模擬授業等	5. 開講学期	秋期						
6. 履修条件・他科目との関係	「日本語教育実習Ⅰ」を履修済みであること。								
7. 講義概要	日本語教育実習Ⅰで学んだ教材分析と教案作成に関する知見や、教壇実習をもとに、日本語教育実習Ⅱでは、あらゆるニーズの学習者に対応できる実践力を身につける。初級後半の教材分析を行い文型教育から中上級では、どのような日本語教育が目指されているのか理解する。また多様化が進む日本語教育の現場において対応できる実践力獲得を目指す。そのために、あらゆるニーズを想定し、到達目標を決め、それに沿った教案を作り、模擬授業を行う。それにより、多様化する日本語教育の現場において、あらゆるレベルに対応できる柔軟な日本語教師の養成を行う。								
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 教壇実習を生かし模擬授業が行える。 2 初級後半の文型授業が行える。 3 中上級の会話・読解授業に対応できる。 4 ニーズを設定し教材が作成できる。 5 作成した教材に沿って教案が書ける。 6 作成した教材・教案に沿って授業が行える。 7 日本語教育の効果的方法、工夫、問題点に気づくことができる。 								
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	教育実習日誌 ・教案、教材、評価表など、オリエンテーション時の指示に従って各自作成する。								
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】授業内でプリントを配布する。 【参考書】授業内で適宜紹介する。								
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業の教案を書くことができたか。 2. 教案に沿って教えることができたか。 3. 設定したニーズに合った教材が作成できたか。 <p>○評定の方法：以下の点を総合して評価する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 授業への参加態度</td> <td>総合点の 30%</td> </tr> <tr> <td>2. 模擬授業</td> <td>総合点の 30%</td> </tr> <tr> <td>3. 提出課題 (ワークシート、教案、レポート等)</td> <td>総合点の 40%</td> </tr> </table>			1. 授業への参加態度	総合点の 30%	2. 模擬授業	総合点の 30%	3. 提出課題 (ワークシート、教案、レポート等)	総合点の 40%
1. 授業への参加態度	総合点の 30%								
2. 模擬授業	総合点の 30%								
3. 提出課題 (ワークシート、教案、レポート等)	総合点の 40%								
12. 受講生へのメッセージ	「日本語教育実習Ⅰ」で身に付けた技能を更に向上させられるよう、より広い視野で学習者を理解し、自分自身を見つめ直す体験をしてほしい。								
13. オフィスアワー	初回授業で周知する。								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第1回	オリエンテーション (コース内容、実習の進め方、評価方法など)	事前学習	シラバスをよく読み、講義内容を理解する。						
		事後学習	授業で配布された資料を読み直しておく。						
第2回	教育実習の心構え (日本語教育実習1の振り返り、目標設定)	事前学習	日本語教育実習1の反省点を整理しておく。						
		事後学習	今学期の目標を実習日誌に書く。						
第3回	教材研究 (実習に使用する教科書の分析、学習項目の整理)	事前学習	指定された教科書に目を通しておく。						
		事後学習	実習する単元の学習目標を把握する。						
第4回	授業見学 (実習対象クラスの学習者と学習項目の把握)	事前学習	授業見学の確認項目に目を通しておく。						
		事後学習	授業に関する必要事項を日誌に記入する。						
第5回	授業計画1 (授業展開、教材、教具について検討、教案作成)	事前学習	初回実習の授業範囲を確認しておく。						
		事後学習	教案と教材を完成させる。						
第6回	教案発表1、意見交換 (教案の確認、修正、完成)	事前学習	教案発表がスムーズにできるよう準備する。						
		事後学習	意見交換を受けて教案と教材を修正する。						
第7回	模擬授業1、意見交換 (教壇実習の練習、観察)	事前学習	授業展開をよく確認し、頭に入れておく。						
		事後学習	模擬授業を振り返り、授業計画を修正する。						
第8回	教壇実習1、相互評価	事前学習	授業展開を復習しておく。						
		事後学習	相互評価で出された意見を日誌に記入する。						
第9回	教壇実習1の振り返り (自己評価、目標の再設定)	事前学習	授業を内省し、気づいた点を記録しておく。						
		事後学習	自己評価と課題を日誌に記入する。						
第10回	授業計画2 (授業展開、教材、教具について検討、教案作成)	事前学習	第2回実習の授業範囲を確認しておく。						
		事後学習	教案と教材を完成させる。						

第11回	教案発表1、意見交換 (教案の確認、修正、完成)	事前学習	教案発表がスムーズにできるよう準備する。
		事後学習	意見交換を受けて教案と教材を修正する。
第12回	模擬授業2、意見交換 (教壇実習の練習、観察)	事前学習	授業展開をよく確認し、頭に入れておく。
		事後学習	模擬授業を振り返り、授業計画を修正する。
第13回	教壇実習2、相互評価	事前学習	授業展開を復習しておく。
		事後学習	相互評価で出された意見を日誌に記入する。
第14回	教壇実習2の振り返り (自己評価、目標の再設定)	事前学習	授業を内省し、気づいた点を記録しておく。
		事後学習	自己評価と課題を日誌に記入する。
第15回	振り返りスピーチ、講評 (実習日誌の完成、提出)	事前学習	振り返りスピーチの原稿を用意する。
		事後学習	実習日誌を完成させ、提出する。